

2026年5月12日

味の素冷凍食品（株）と角川ドワンゴ学園が連携 高校生と企業が共に学び共創する環境学習プログラム “Co-Creationプログラム”を始動！

味の素冷凍食品株式会社（社長：南良勉 本社：東京都中央区）は、学校法人角川ドワンゴ学園 N 高等学校・S 高等学校・R 高等学校（以下、N 高グループ）と連携し、N 高グループの高校生と共に環境課題の学びと実践に取り組む Co-Creation プログラムを始動します。本プログラムは2段階で構成され、まず 2026 年 5 月からオンライン授業を配信し、その後 2026 年 7 月から希望者を対象としたコンテスト形式のプロジェクト型学習を開始します。

本プログラムでは高校生に実践的な学びの機会を N 高グループと連携して提供します。オンライン授業と現場での学びを通じて環境課題を自分ごととして捉える体験を支援し、生徒が主体的に考え表現する場を設けます。こうした学びの場を通じて、将来を担う若い世代の環境意識の醸成と課題解決力の育成に寄与したいと考えています。

本プログラムでは、まず 2026 年 5 月から当社の社員が講師を務めるオンライン授業をスタジオから配信（アーカイブあり）し、当社の「AJINOMOTO. ギョーザ」の環境に関する取り組みを講義形式で紹介します。続いて上記授業受講者の中から希望者を対象として、2026 年 7 月からコンテスト形式のプロジェクト型学習を実施します。参加する生徒はオンライン授業の内容を踏まえ、スタディツアーとして「AJINOMOTO. ギョーザ」の製造現場である当社関東工場の見学を行った後、ツアーで学んだ知識をもとに、商品を生活者へ訴求するための SNS 用動画・画像等のクリエイティブ制作などに取り組みます。制作にあたっては、株式会社博報堂のクリエイターが学習支援の一環として指導を行います。

本プログラム受講により、高校生にとっては、企業と連携した実践的な学びを通じて環境課題を自分ごととして捉え、日々の暮らしの充足と環境課題解決を、どちらも楽しみながら推進していく機会を得ることが可能となります。当社は本取り組みにより、教育機関と連携して学びの場を提供することで、これからの担う若い世代と共に持続可能な社会づくりを進めていきます。

Co-Creationプログラム

①オンライン授業

味の素冷凍食品の
環境に関する取り組みの学習

資源循環スキーム

②プロジェクト型学習

味の素冷凍食品の
関東工場の見学
〈スタディツアー〉

製造工程

フリッピングチャレンジ

味の素冷凍食品のオウンドメディア
に掲載する、動画・画像の制作
※スタディツアーへの参加が必須

クリエイティブ制作

オンライン授業「資源循環スキームの確立とその全国展開に関する取り組み紹介」概要

講師：味の素冷凍食品株式会社 戦略コミュニケーション部長 源田達章

内容：当社は、「環境への配慮」について、「えらぶだけでサステナブル」をスローガンに、生活者の努力や負担に委ねるのではなく、企業側の取り組みによって自然に環境貢献が成立する社会を目指して取り組んでいます。その一環として、「AJINOMOTO ギョーザ」に使用するキャベツ等の原材料における資源循環スキームを構築しており、オンライン授業では九州工場での活動開始からその他工場へと展開したチャレンジについて紹介します。

学校法人角川ドワンゴ学園 理事長 山中伸一（やまなかしんいち）コメント



このたび味の素冷凍食品株式会社と連携し、環境問題をテーマとした特別講義および PR 動画制作ワークショップを実施できることを大変うれしく思います。本企画は、企業が取り組む環境配慮の実践を学ぶだけでなく、生徒自身が消費者の視点やクリエイティブの力を通して社会課題について考え、発信することに挑戦します。貴重な機会を設けていただいた味の素冷凍食品社に深く感謝するとともに、デジタルネイティブである N 高生が、高校生ならではの自由な視点で等身大のメッセージを社会へ届けることを期待しています。生徒が社会課題を自分事として捉え、主体的に学び続けるきっかけとなる取り組みを今後も広げてまいります。

味の素冷凍食品株式会社 代表取締役社長 南良勉（ならつとむ）コメント



学校法人角川ドワンゴ学園と連携し、環境課題を“知る”だけでなく、“自ら考え、表現する”学びの場を共創できることを大変うれしく思います。最先端の学習環境で学び、豊かな感性と発想を持つ N 高グループの生徒の皆さまが、当社の取り組みをきっかけに、環境課題を自分ごととして捉えてくださることは、持続可能な社会の実現に向けて大変意義深いことだと感じております。本プログラムが、未来を担う皆さまの学びと挑戦を後押しするとともに、私たちにとっても新たな気づきや学びを得る貴重な機会となることを期待しております。改めまして、角川ドワンゴ学園の皆さまとこの取り組みをご一緒できることに心より感謝申し上げます。

【参考】学校法人角川ドワンゴ学園 N 高等学校・S 高等学校・R 高等学校 概要

<N 高等学校（本校：沖縄県うるま市、校長：奥平博一）／S 高等学校（本校：茨城県つくば市、校長：吉井直子）／R 高等学校（本校：群馬県桐生市、校長：奥平博一）>

N 高グループはインターネットと通信制高校の制度を活用した“ネットの高校”です。2016 年に「N 高等学校」を開校後、2021 年に 2 校目となる「S 高等学校」を開校し、2025 年には 3 校目となる「R 高等学校」を開校しました。生徒数は 35,744 名です（2025 年 12 月末時点）。VR や AI を活用した最先端のオンライン学習環境を提供しているほか、高校卒業資格のための必修授業に加え、大学受験やプログラミング、イラスト、小説、ゲーム、ファッション、料理、美容など多彩な課外授業を好きな時間にオンラインで受講できます。また、日本全国で実施している宿泊型の職業体験や、企業や自治体と連携した課題解決型学習プログラム等、社会で役立つスキルや経験を身につけられる学習機会を提供しています。

Web サイト <https://nnn.ed.jp/>